

2013年3月期 決算補足説明資料

2013年5月8日
東京応化工業株式会社

業績概要

(百万円、%)

	2012/3	2013/3	
		増減	増減率
売上高	80,037	72,919	△7,117 △8.9
営業利益	6,102	7,872	+1,770 +29.0
経常利益	6,836	8,617	+1,780 +26.0
当期純利益	3,818	5,443	+1,624 +42.6

- 期中平均為替 (US 円) : 78.2 $\text{円}/\text{ドル}$ (2012/3) \Rightarrow 81.9 $\text{円}/\text{ドル}$ (2013/3)
- 売上高 : 装置事業の売上減少が大きく、減収。材料事業は増収確保。
- 営業利益 : 装置事業の減益を、材料事業の増益で補った。貸倒引当金繰入が影響した前年同期の利益水準からの大幅回復。
- 当期純利益 : 実効税率低下等から増益率は経常利益を上回り、増益。

事業別セグメントの業績

(百万円、%)

	2012/3	2013/3	
		増減	増減率
売上高	80,037	72,919	△7,117 △8.9
材料事業	66,644	67,697	+1,052 +1.6
エレクトロニクス機能材料	43,246	43,116	△130 △0.3
高純度化学薬品	22,789	24,144	+1,355 +5.9
その他	609	435	△173 △28.5
装置事業	13,392	5,222	△8,169 △61.0
営業利益	6,102	7,872	+1,770 +29.0
材料事業	8,303	10,716	+2,413 +29.1
装置事業	908	232	△676 △74.4
消去又は全社	△3,108	△3,075	+32 -

(注) 装置事業の売上は消去後の数字。

tok

2

比較貸借対照表

(百万円)

	2013/3	12/3末比	
流動資産	86,859	3,903	売上債権 △2,796 たな卸資産 △1,156
内、現金預金	57,071	6,997	
有形固定資産	31,057	1,875	建物及び構築物 △801 機械装置 △826 工具器具備品 +408 建設仮勘定 +3,212
無形固定資産	338	92	
投資その他の資産	27,409	1,025	投資有価証券 +1,589 繰延税金資産 △312 長期貸付金 △59
流動負債	15,013	△1,550	
買入債務	5,892	△729	
前受金	1,359	△1,989	
固定負債	2,811	198	利益剰余金 +3,641 自己株式 +138
純資産合計	127,838	8,248	為替換算調整勘定 +2,331 少数株主持分 +1,100 その他有価証券評価差額金 +1,019
総資産	145,664	6,896	

tok

3

キャッシュフロー

(百万円)

	2012/3	2013/3
営業キャッシュフロー	+11,882	+12,438
税金等調整前当期純利益	+6,577	+8,031
減価償却費	+4,038	+3,758
貸倒引当金の増減(△)額	+795	△118
売上債権の増(△)減額	+1,995	+3,458
たな卸資産の増(△)減額	+8,414	+1,633
仕入債務の増減(△)額	△1,709	△922
前受金の増減(△)額	△7,829	△1,989
法人税等の支払い	△1,008	△1,225
投資キャッシュフロー	△18,523	△75
財務キャッシュフロー	△1,844	△1,386
換算差額	△365	+1,429
現金及び現金同等物の増減額	△8,851	+12,405

装置事業の検収促進

主な内訳
 長期預金の預入 △13,000
 長期預金の払戻 +17,500
 有形固定資産の取得 △5,377
 定期預金の純減 +1,075

主な内訳
 配当金の支払 △2,014
 (含む少数株主)

tok

4

業績予想概要 (通期)

(百万円、%)

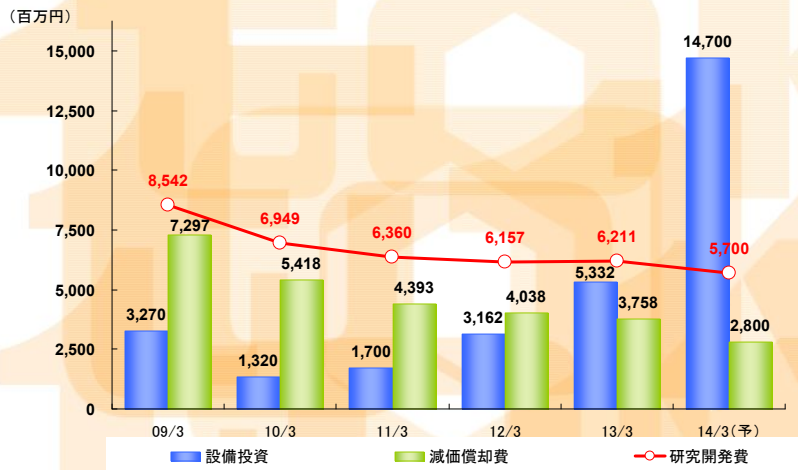
	2013/3 実績	2014/3予想	
		増減	増減率
売上高	72,919	79,600	+6,680 +9.2
営業利益	7,872	11,100	+3,227 +41.0
経常利益	8,617	11,600	+2,982 +34.6
当期純利益	5,443	7,300	+1,856 +34.1

- 為替前提 (US $\text{F}_{\text{円}}$) : 81.9円/ $\text{F}_{\text{円}}$ (2013/3) \Rightarrow 92.0円/ $\text{F}_{\text{円}}$ (2014/3)
- 売上高 : 材料事業の大幅増収によりV字回復。
- 営業利益 : 装置事業は低調だが、材料事業の増益が利益拡大牽引。
減価償却方法の変更に伴う固定費負担の減少。

tok

5

設備投資・減価償却・研究開発



(注) 2014/3期より、減価償却の方法を変更(定率法から定額法)。これに伴い、従来の方法によった場合に比べ、減価償却費は566百万円減少します。

事業別セグメント業績予想

(百万円、%)

	2013/3 通期実績	2014/3通期予想	
		増減	増減率
売上高	72,919	79,600	+6,680 +9.2
材料事業	67,697	73,500	+5,802 +8.6
エレクトロニクス機能材料	43,116	45,800	+2,683 +6.2
高純度化学薬品	24,144	27,400	+3,255 +13.5
装置事業	5,222	6,100	+877 +16.8
営業利益	7,872	11,100	+3,227 +41.0
材料事業	10,716	14,000	+3,283 +30.6
装置事業	232	190	△42 △18.2
消去又は全社	△3,075	△3,090	△14 -

(注) 装置事業の売上は消去後の数字